



<form action="l.cgi" method="POST">という命令は、l.cgi という CGI を起動するための命令で、input type を使用し、l.cgi に text を送ります。



図4 cgi を使った結果

```

ソース
01 !/usr/local/bin/ruby
02 print "Content-type: text/html¥n¥n"
03 require "cgi-lib"
04 input = CGI.new
05 inputdata = input["senddata"]
   print "<html><body>inputdata =
   #{inputdata}</body></html>"

```

図5 l.cgi

01 の命令は、ruby.exe の場所を示していて、ruby でのプログラミングのお決まりです。

02 の命令は、この cgi を HTML 形式で表示することを示しています。

03 で CGI ライブラリを呼び出します。

04 でインプットデータを input の中に入れます。

05 で、図2のように、inputdata=書き込んだ文字ということになります。

#### (2) アクセスカウンタ

このプログラムは、ページを表示させると、count.txt に 1 がプラスされます。



図6 coun. cig の出力結果

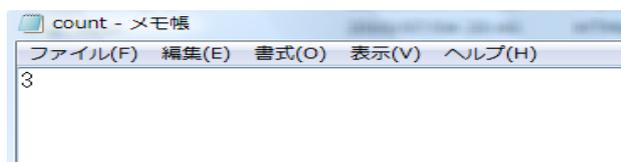


図7 count.txt

ソース

```

01 #!/ruby/bin/ruby
02 print "Content-Type: text/html¥n¥n"
03 count_file="count.txt"
04 count=open(count_file,"r").read
05 count=count.to_i
06 count+=1
07 count=count.to_s
08 open(count_file,"w").write count
09 print "<html><body>¥n""あなたは
<b>#{count}</b>番目</body>"</html>¥n"

```

図8 coun.cgi

01 の命令は、“count.txt”を変数 count\_file で代用します。

04 の命令は、count.txt を読み込み専用で呼び出します。

05 の命令で、count.txt の内容を数字にします。

06 の命令で、アクセスカウンタの更新を行います。

07 の命令で、count の内容を文字にします。

08 の命令で、count.txt に count の内容を書き込みます。

#### 4. まとめ

今回の課題研究では、CGI で掲示板を作ろうとしましたが間に合わず、あまりいいプログラムを作ることができませんでした。CGI について勉強することができました。

#### 5. 参考文献

- ruby 逆引きハンドブック

るびきち 著  
C&R 研究所

- ruby による CGI プログラミング

三並慶佐 著  
株式会社 SCC

- たのしい RUBY

高橋征義 後藤雄三 著  
SoftBank

- RUBY レシピブック

青木峰朗 後藤雄三 高橋征義 著  
SoftBank

